

1

1 ダリヨスの第二年の第八の月に、

イドの子ベレクヤの子、預言者ゼカ

リヤに、次のような主のことばがあった。

2 主はあなたがたの先祖たちを激しく怒られた。

3 あなたは、彼らに言え。万軍の主はこう仰せられ

る。わたしに帰れ。——万軍の主の御告げ。——そうす

れば、わたしもあなたがたに帰る、と万軍の主は仰せ

られる。

4 あなたがたの先祖たちのようであつてはならない。

5 先の預言者たちが彼らに叫んで、「万軍の主はこう仰

せられる。あなたがたの惡の道がら立ち返り、あなた

がたの悪いわざを悔い改めよ。」と言つたのに、彼らは

わたしに聞き從わず、わたしに耳を傾けもしなかつた。

6 主の御告げ。

7 あなたがたの先祖たちは今、どこにいるのか。預言

者たちは永遠に生きているだろうか。

8 しかし、わたしのしもべ、預言者たちにわたしが命じた、わたしのことばとおきてとは、あなたがたの先

祖たちに追いつまつではないか。そこで彼らは立ち返つて言つた。「万軍の主は、私たちの行ないとわざに

応じて、私たちにしようと考へられたとおりを、私た

ちにされた」と。

主に「帰れ、先祖は向き徐けなかれ。」

悔改・向叶 先の預言。

主が帰る エレサレムに

民を救う ユダ・シオン時代

13すると主は、私と話していた御使いに、良いことば、慰めのことばで答えられた。
 14私は、私と話していた御使いは私に言った。「叫んで言え。
 15万軍の主は、こう仰せられる。『わたしは、エルサレムとシオンを、ねたむほど激しく愛した。
 16しかし、安逸をむさぼっている諸国民に対しては大いに怒る。わたしが少ししか怒らないでいる、彼らはほしいままに惡事を行なつた。』
 17それゆえ、主はこう仰せられる。『わたしは、われみをもってエルサレムに帰る。そこにわたしの宮が建て直される。——万軍の主の御告げ。——測りなわはエルサレムの上に張られる。』
 18もう一度叫んで言え。『万軍の主はこう仰せられる。わたしの町々には、再び良いものが散り乱れる。主は再びシオンを慰め、エルサレムを再び選ぶ。』

エレサレムに帰る。

13すると主は、私と話していた御使いに、良いことば、慰めのことばで答えられた。
 14私は、私と話していた御使いは私に言った。「叫んで言え。
 15万軍の主は、こう仰せられる。『わたしは、エルサレムとシオンを、ねたむほど激しく愛した。
 16しかし、安逸をむさぼっている諸国民に対しては大いに怒る。わたしが少ししか怒らないでいる、彼らはほしいままに惡事を行なつた。』
 17それゆえ、主はこう仰せられる。『わたしは、われみをもってエルサレムに帰る。そこにわたしの宮が建て直される。——万軍の主の御告げ。——測りなわはエルサレムの上に張られる。』
 18もう一度叫んで言え。『万軍の主はこう仰せられる。わたしの町々には、再び良いものが散り乱れる。主は再びシオンを慰め、エルサレムを再び選ぶ。』

バゼロンが立つ。

19主の榮光が、あなたがたを略奪した國々に私を遣わして後、万軍の主はこう仰せられる。『あなたがたに触れる者は、わたしのひとみに触れる者だ。』
 20見よ。わたしは、こぶしを彼らに振り上げる。彼らは自分に仕えた者たちのとりことなる。』と。このとき、あなたがたは、万軍の主が私を遣わされたことを知ろう。
 21その日、多くの國々が主につき、彼らはわたしの民となり、わたしはあなたのただ中に住む。——主の御告げ。——
 22万軍の主が私をあなたに遣わされたことを知ろう。主は、聖なる地で、ユダに割り当て地を分け与え、エルサレムを再び選ばれる。』
 23すべての肉なる者よ。主の前で静まれ。主が立ちあがって、その聖なる住まいから来られるからだ。

地を行き廻る鳥。

フダリヨスの第二年のシエバテの月である第十一の月の二十四日に、イドの子ベレクヤの子、預言者ゼカリヤに、次のような主のことばがあった。
 8夜、私が見ると、なんと、ひとりの人が赤い馬に乗つていた。その人は谷底にあるミルトスの木の間に立つていた。彼のうしろに、赤や、栗毛や、白い馬がいた。
 9私が、「主よ。これらは何ですか。」と尋ねると、私は話していた御使いが、「これらが何か、あなたに示そう。」と私は言った。
 10ミルトスの木の間に立つていた人が答えて言った。「これらは、地を行き廻るために主が遣わされたものだ。」
 11すると、これらは、ミルトスの木の間に立つている主の使いに答えて言った。「私たちは地を行き廻りましたが、まさに、全地は安らかで、穏やかでした。」
 12主の使いは答えて言った。「万軍の主よ。いつまであなたはエルサレムとユダの町々に、あわれみを施されないのでですか。あなたがのろつて、七十年になります。」

ミルトス、ネヘミヤ 8:15 俊豪の井戸料 レビズミ:40

イハヤ 55:13 主が帰るときユダのかわりに生えよ。
 もの記念ヒヂ。

団火の城壁 測綱

攻城壁のないのに町じます。

18私が目を上げて見ると、なんと、四つの角があつた。
 19私が、私と話していた御使いに、「これらは何ですか。」と尋ねると、彼は私に言った。「これらは、ユダとイスラエルとエルサレムとを散らした角だ。」
 20そのとき、主は四人の職人を私に見せてください。私が、「この者たちは、何をしに来たのですか。」と尋ねると、主はこう仰せられた。「これらはユダを散らして、だれにも頭をもたげさせなかつた角だ。この者たちは、これらの角を恐れさせ、また、ユダの地を尋ねると、主はこう仰せられた。「これらはユダを散らそうと角をもたげる國々の角を打ち滅ぼすためにやって来たのだ。」

四角、4職人

ユダを救う内)

2私が、目を上げて見ると、なんと、ひとりの人がいて、その手に一本の測り綱があった。
 3私が尋ねると、彼は答えた。「エルサレムを測りに行く。その幅と長さがどれほどあるかを見るために。」
 4そして彼に言った。「走つて行って、あの若者にこう告げなさい。『エルサレムは、その中の多くの人と通りの御使いが、彼に会うため出て行つた。』
 5しかし、わたしが、それを取り巻く火の城壁となる。家畜のため、城壁のない町とされよう。

2

1私が目を上げて見ると、ひとりの人がいて、その手に一本の測り綱があった。

2

1私が目を上げて見ると、ひとりの人がいて、その手に一本の測り綱がある。

(見付)

ヨシマアが来る

ヨシマアの改訂(後)

3

1 主は私に、主の使いの前に立つてうとしてその右手に立っているサタンとを見せられた。

2 主はサタンに仰せられた。「サタンよ。主がおまえをとがめている。エルサレムを選んだ主が、おまえをとがめている。これは、火から取り出した燃えさせないか。」

3 ヨシニアは、よこれた服を着て、御使いの前に立っていた。

4 御使いは、自分の前に立っている者たちに答えてこう言った。「彼のよこれた服を脱がせよ。」そして彼はヨシニアに言った。「見よ。わたしは、あなたの不義を除いた。あなたに礼服を着せよう。」

5 私は言った。「彼の頭に、きよいターバンをかぶらせなければなりません。」すると彼女は、彼の頭にきよいターバンをかぶらせ、彼に服を着せた。その後

6 主の使いはヨシニアをさとして言った。
わたしは、あなたをこれらの立つている者たちの間で、あなたがわたくしの道に歩み、わたしの戒めを守るなら、あなたはまわり物を刻む。——万軍の主の御告げ。——わたしはまさる。

7 見よ。わたしがヨシニアの前に置いた石。その一つの石の上に七つの目があり、見よ、わたしはそれに彫り物を刻む。——万軍の主の御告げ。——わたしはまた、その国の不義を一日のうちに取り除く。——その日には、——万軍の主の御告げ。——あなたが木の下に招き合うであろう。」

不義を除く。

士師記9: オーライ。いちじくはどう。

ヨルバベルが来た

4

1 私と話していた御使いが戻つて来て、私を呼びましたので、私は寝

りからさまされた人のようであった。

2 彼は私に言った。「あなたは何を見ているのか。」そ

こで私は答えた。「私が見ますと、全体が金でできている一つの燭台があります。その上部には、鉢があり、その鉢の上には七つのもじび皿があり、この上部にあるともしう皿には、それぞれ七つの管がついていま

す。」

3 また、そのそばには二本のオリーブの木があり、一本はこの鉢の右に、他の一本はその左にあります。」

4 さらに私は、私と話していた御使いにこう言った。

「主よ。これらは何ですか。」

5 私と話していた御使いが答えて言った。「あなたは、

これらが何か知らないのか。」私は言った。「主よ。知

りません。」

6 すると彼は、私に答えてこう言った。「これは、ゼルバベルへの主のことばだ。『権力によらず、能力によらず、わたしの靈によつて。』と万軍の主は仰せら

れる。」

7 大いなる山よ。おまえは何者だ。ゼルバベルの前で

平地となれ。彼は、『恵みあれ。これに恵みあれ。』と

叫びながら、かしら石を運び出そう。」

8 ついで私に次のように主のことばがあつた。

9 「ゼルバベルの手が、この宮の礎を据えた。彼の手

が、それを完成する。このとき、あなたは、万軍の主

が私をあなたがたに遣わされたことを知ろう。」

10 だれが、その日を小さな事としてさげすんだのか。

これらは、ゼルバベルの手にある下げ振りを見て喜

ぼう。これらの七つは、全地を行き廻る主の目であ

る。」

11 私はまた、彼に尋ねて言った。「燭台の右左にある、

この二本のオリーブの木は何ですか。」

12 私は再び尋ねて言った。「一本の金の管によつて油

をそこぎ出すこのオリーブの二本の枝は何ですか。」

13 すると彼は、私にこう言った。「あなたは、これらが何を知らないのか。」私は言った。「主よ。知りません。」

14 彼は言つた。「これらは、金地の主のそばに立つ、

ふたりの油、そがれた者だ。」

油の子。

6:15

詩52:7.8

力によらず、恵み一神の家アドリード。

ヨルバベルの油

偽・悪さ裁く (バビロン)

メシヤが建て直す 主の神殿で

7 偽・悪さ裁く (バビロン)

8 メシヤが建て直す 主の神殿で

9 ついで私は次のような主のことばがあった。

10 捕囚の民であったヘルダイ、トビヤ、エダヤからさしげ物を受け取り、その日、あなたはバビロンから帰つて来たゼバニヤの子ヨシヤの家へ行け。

11 あなたは金と銀を取つて、冠を作り、それをエホツアダクの子、大祭司ヨシニアの頭にかぶらせ、

12 彼にこう言え。「万軍の主はこう仰せられる。見よ。ひとりの人がいる。その名は若枝。彼のいる所から芽を出し、主の神殿を建て直す。」

13 彼は主の神殿を建て、彼は尊嚴を帶び、その王座に着いて支配する。その王座のかたわらに、ひとりの祭司がいて、このふたりの間には平和の一一致がある。」

14 その冠は、ヘルダイ、トビヤ、エダヤ、ゼバニヤのヨシヤの記念として、主の神殿のうちに残る。

15 また、遠く離れていた者たちも来て、主の神殿を建て直そう。このとき、あなたがたは、万軍の主が私があなたがたに遣わされたことを知ろう。もし、あなたがたが、あなたの神、主の御声に、ほんとうに聞き従うなら、そのようになる。」

4:9

主が遣され元

⑦エパホ、罪

1 彼は私に言った。「何を見ているのか。」私は答えた。「飛んでいる巻き物を見ています。その長さは二十キユビト、その幅は十キユビトです。」

2 すると彼は、私に言った。「これは、全地の面に出で行くのろいだ。盗む者はだれでも、これに照らし合わせて取り除かれ、また、偽つて誓う者はだれでも、これに照らし合わせて取り除かれる。」

3 「わたしが、それを出て行かせる。——万軍の主の御告げ。——それは、盗人の家にはいり、また、わたしの名を使つて偽りの誓いを立てる者の家にはいり、その家の真中にとどまり、その家を染と石とともに絶ち滅ぼす。」

4 「わたしと話していた御使いが出て来て、私に言った。『みつけて出て行く物が何かを見よ。』

5 私が、「それは何ですか。」と尋ねると、彼は言った。「これは、出て行くエパホだ。」そして言つた。「これは、全地にある彼らの罪だ。」

6 彼は、「これは罪悪だ。」と言つて、その女をエパホの中に閉じ込め、その口の上に鉛の重しをかぶせた。

7 「それから、私が目を上げて見ると、なんと、ふたりの女が出て來た。その翼は風をはらんでいた。彼女たちは、こうのとりの翼のような翼があり、彼女たちは、あのエパホを地と天との間に持ち上げた。

8 そこで私は、私と話していた御使いに尋ねた。「あの方たちは、エパホをどこへ持つて行くのですか。」

9 彼は私に言った。「シヌアルの地で、あの女のために神殿を建てる。それが整うと、そこの台の上に安置するためだ。」

⑧巻物、盗偽

1 私が再び目を上げて見ると、なんと、巻き物が飛んでいた。

2 彼は私に言った。「何を見ているのか。」私は答えた。「飛んでいる巻き物を見ています。その長さは二十キユビト、その幅は十キユビトです。」

3 すると彼は、私に言った。「これは、全地の面に出で行くのろいだ。盗む者はだれでも、これに照らし合わせて取り除かれ、また、偽つて誓う者はだれでも、これに照らし合わせて取り除かれる。」

4 「わたしが、それを出て行かせる。——万軍の主の御告げ。——それは、盗人の家にはいり、また、わたしの名を使つて偽りの誓いを立てる者の家にはいり、その家の真中にとどまり、その家を染と石とともに絶ち滅ぼす。」

5 私と話していた御使いが出て来て、私に言った。『みつけて出て行く物が何かを見よ。』

6 私が、「それは何ですか。」と尋ねると、彼は言った。「これは、出て行くエパホだ。」そして言つた。「これは、全地にある彼らの罪だ。」

7 「わたしが、私と話していた御使いに尋ねて言つた。『みつけて出て行く物が何かを見よ。』

8 これが、出て行くエパホだ。」そして言つた。「これ

5

⑨4馬、4戦車

1 私が再び目を上げて見ると、四台の戦車が二つの山の間から出て来ていた。山は青銅の山であった。

2 第一の戦車は赤い馬が、第二の戦車は黒い馬が、第三の戦車は白い馬が、第四の戦車はまだら毛の強い馬が引いていた。

3 第三の戦車は白い馬が、第四の戦車はまだら毛の強い馬が引いていた。

4 私は、私と話していた御使いに尋ねて言つた。「主よ。これらは何ですか。」

5 御使いは答えて言つた。「これらは、全地の主の前に立つて後、天の四方に出て行くものだ。」

6 そのうち、黒い馬は北の地へ出て行き、白い馬はその後のあとに出て行き、まだら毛の馬は南の地へ出て行く。この強い馬が出て行き、地を駆け巡るうとしているのだ。」そこで彼が、「行って、地を駆け巡れ。」と言うと、それらは地を駆け巡つた。

7 そのとき、彼は私にこう告げた。「見よ。北の地へ出て行ったものを。それらは北の地で、わたしの怒りを諒める。」

8 そのとき、彼は私にこう告げた。「見よ。北の地へ出て行ったものを。それらは北の地で、わたしの怒りを諒める。」

6

7

断食あべきか.

ゼカリヤに主のことばがあった。

1 ダリヨス王の第四年の第九の月、すなわち、キスレウの月の四日に、

レクおよびその従者たちを、主に願うために遣わし、万軍の主に仕える祭司たちと、預言者たちに尋ねさせた。「私が長年やつてきたように、第五の月にも、断食をして泣かなければならないでしようか。」

すると、私に次のような万軍の主のことばがあつた。

5 「この国のすべての民と祭司たちに向かつてこう言え。この七十年の間、あなたがたが、第五の月と第七の月に断食して嘆いたとき、このわたしのために断食したのか。」

6 「あなたがたが食べたり飲んだりするとき、食べるのも飲むのも、自分たちのためではなかつたか。」

7 エルサレムとの回りの町々に人が住み、平和であつたとき、また、ネゲブや低地に人が住んでいたとき、主が先の預言者たちを通して告げられたのは、次のこ

とではなかつたか。」

8 ついで、ゼカリヤに次のような主のことばがあつた。

9 万軍の主はこう仰せられる。「正しいさばきを行ない、互いに誠実を尽くし、あわれみ合え。」

10 やもめ、みなしじ、在留異国人、貧しい者をしいたげるな。互いに心の中で悪をたくらむな。」

11 それなのに、彼らはこれを聞こうともせず、肩を怒らし、耳をふさいで聞き入れなかつた。

12 彼らは心を金剛石のようにして、万軍の主がその御靈により、先の預言者たちを通して送られたおしえとみことばを、聞き入れなかつた。そこで、万軍の主から大きな怒りが下つた。

13 「呼ばれたときも、彼らは聞かなかつた。そのよう

に、彼らが呼んでも、わたしは聞かない。」と万軍の主は仰せられる。

14 「わたしは、彼らを知らないすべての国々に彼らを追い散らす。この国は、彼らが去つたあと、荒れすたれで、行き来する者もいなくなる。こうして彼らはこの慕わしい国を荒れたらせた。」

と云ふと
真実と正義

先の預言者

断食・肉がない

万軍の主
ハサイ・ゼカリヤ・マラキ

Ps 46.48.80.84

ユダの家は平安。平安なる。

万軍の主は平安なる。平安なる。平安なる。
1 万軍の主はこう仰せられる。「わたしはシオンをねたむほど激しく愛し、ひどい憤りでこれをねたむ。」
2 万軍の主はこう仰せられる。「わたしはシオンをねたむほど激しく愛し、ひどい憤りでこれをねたむ。」
3 主はこう仰せられる。「わたしはシオンに帰り、エルサレムのただ中に住もう。エルサレムは眞実の町と呼ばれ、万軍の主の山は聖なる山と呼ばれよう。」
4 万軍の主はこう仰せられる。「再び、エルサレムの広場には、老いた男、老いた女がすわり、年寄りになつて、みな手に杖を持つ。」
5 町の広場は、広場で遊ぶ男の子や女の子でいっぱいになろう。」
6 万軍の主はこう仰せられる。「もし、これがその日、この民の残りの者の目に不思議に見えても、わたしの目に、これが不思議に見えるだろうか。」
7 万軍の主はこう仰せられる。「見よ。わたしは、わたしの民を日の出る地と日の入る地から救い、彼らを連れ帰り、エルサレムの中に住ませる。このとき、彼らはわたしの民となり、わたしは眞実と正義をもつて彼らの神となる。」
8 万軍の主はこう仰せられる。「勇気を出せ。あなたたちは、万軍の主である神殿を建てるための礎が据えられた日以来、預言者たちの口から、これらのことはを日ごろ聞いているではないか。」
9 万軍の主はこう仰せられる。「人がさせいで報酬がなく、家畜がかせいでも報酬がなかった。出て行く者にも、帰つて来る者にも、敵がいるために平安はなかつた。わたしはすべての人を互いに争わせたからだ。」
10 その日以前は、人がさせいで報酬がなく、家畜がかせいでも報酬がなかった。出て行く者にも、帰つて来る者にも、敵がいるために平安はなかつた。わたしはユダの家よ。イスラエルの家よ。あなたたちは諸國の間でのろいとなつたが、そのように、わたしはあなたがたを救つて、祝福とならせる。恐れるな。勇気を出せ。」

民の主がいる者。エリヤの御告げ。

8

1 次のような万軍の主のことばがあつた。

2 万軍の主はこう仰せられる。「わたしは、シオンをねたむほど激しく愛し、ひどい憤りでこれをねたむ。」

3 主はこう仰せられる。「わたしはシオンに帰り、エルサレムのただ中に住もう。エルサレムは眞実の町と呼ばれ、万軍の主の山は聖なる山と呼ばれよう。」

4 万軍の主はこう仰せられる。「再び、エルサレムの広場には、老いた男、老いた女がすわり、年寄りになつて、みな手に杖を持つ。」

5 町の広場は、広場で遊ぶ男の子や女の子でいっぱいになろう。」

6 万軍の主はこう仰せられる。「もし、これがその日、この民の残りの者の目に不思議に見えても、わたしの目に、これが不思議に見えるだろうか。」

7 万軍の主はこう仰せられる。「見よ。わたしは、わたしの民を日の出る地と日の入る地から救い、彼らを連れ帰り、エルサレムの中に住ませる。このとき、彼らはわたしの民となり、わたしは眞実と正義をもつて彼らの神となる。」

8 万軍の主はこう仰せられる。「勇気を出せ。あなたたちは、万軍の主である神殿を建てるための礎が据えられた日以来、預言者たちの口から、これらのことはを日ごろ聞いているではないか。」

9 万軍の主はこう仰せられる。「人がさせいで報酬がなく、家畜がかせいでも報酬がなかった。出て行く者にも、帰つて来る者にも、敵がいるために平安はなかつた。わたしはすべての人を互いに争わせたからだ。」

10 その日以前は、人がさせいで報酬がなく、家畜がかせいでも報酬がなかった。出て行く者にも、帰つて来る者にも、敵がいるために平安はなかつた。わたしはユダの家よ。イスラエルの家よ。あなたたちは諸國の間でのろいとなつたが、そのように、わたしはあなたがたを救つて、祝福とならせる。恐れるな。勇気を出せ。」

喜び。

真実と平和のとはしきを行ふ。

日本語訳文
喜び。

NPB
NBB

國々も主とすめ

例解聖書

國々も主とすめよう

真実と平和。

万軍の主、ハサイが最初。
1 罪11:9 失せざりともに。
ハサイ、ゼカリヤ、マラキ。

申31:23

3食にあひたむにあひ
ゆゑいはともにいふ。

金12:24

アラヘム

1 罪16:17:ダビデ。

22: ヨゼフ

19 万軍の主はこう仰せられる。「第四の月の断食、第五の月の断食、第七の月の断食、第十の月の断食は、ユダの家にとつては、楽しみとなり、喜びとなり、うれしい例祭となる。だから、眞実と平和を愛せよ。」
20 万軍の主はこう仰せられる。「再び、国々の民と多くの町々の住民がやって来る。」
21 一つの町の住民は他の町の住民のところへ行き、さあ、行って、主の恵みを請い、万軍の主を尋ね求めよう。私も行こう。」と言う。
22 多くの国々の民、強い国々がエルサレムで万軍の主を尋ね求め、主の恵みを請うために来よう。」
23 万軍の主はこう仰せられる。「その日には、外国语を話すあらゆる民のうちの十人が、ひとりのユダヤ人のそそを堅くつかみ、「私たちもあなたがたといつしよに行きたい。神があなたがたとともにおられる、と聞いたからだ。」と言う。」

などされなかつて。

(レバノンの巻) (カナンの巻)

ソロ・シドン

・イサヤ23:ソロ・タレシム シドン。

・エゼキエル26:-28:

27:5-6 レバノンを、バシヨンのかし。
28:ソロの知恵。○マタイ11:21-22 ソロ・シドンが悔い改め。
たゞまう
(ソドムと同じ扱い)

- 1あなたがたは春の雨の時に、
- 2雨を主に請い求めよ。
- 3主はいなずまを造り、大雨を人々に賜い、
- 4野の青草をおのおのに賜わる。

10

ペリシテ人 B.C.332

- ¹詫宣
主の言葉はハデラクの地に臨み、
ダマスコの上にとどまる。
アラムの町々はイスラエルのすべての部族のように主
に属するからである。
²これに境するハマテもまたそのとおりだ。
非常に賢いが、ソロとシドンもまた同様である。
³ソロは自分のために、とりでを築き、
銀をちりのように積み、
金を道ばたの泥のように積んだ。
⁴しかし見よ、主はこれを攻め取り、
その富を海の中に投げ入れられる。
これは火で焼き滅ぼされる。
⁵アシケロンはこれを見て恐れ、
ガザもまた見てもだえ苦しみ、
エクロンもまたその望む所のものが
はずかしめられて苦しむ。

- ⁶アシケロンには住む者がなくなり、
アシドドには混血の民が住む。
私はペリシテびとの誇を断つ。
⁷またその口から血を取り除き、
その歯の間から憎むべき物を取り除く。
これもまた残つてわれわれの神に帰し、
ユダの一民族のようになる。
またエクロンはエブスピのようになる。
⁸その時私は、わが家のために盾を張つて、
見張りをし、行き来する者のないようにする。
しゃたげる者は、かさねて通ることがない。
私が今、自分の目で見てているからである。
- ⁹その日、彼らの神、主は、彼らを敷い、
その民を羊のように養われる。
彼らは冠の玉のように、その地に輝く。
¹⁰そのさいわい、その麗しさは、いかばかりであろう。
穀物は若者を榮えさせ、
新しいぶどう酒は、おとめを榮えさせる。

¹詫宣主の言葉はハデラクの地に臨み、
ダマスコの上にとどまる。アラムの町々はイスラエルのすべての部族のように主
に属するからである。
²これに境するハマテもまたそのとおりだ。
非常に賢いが、ソロとシドンもまた同様である。ヤヤ人
シドン人イゼベル
(フェニキヤ人)⁹シオンの娘よ、大いに喜べ、
エルサレムの娘よ、呼ばわれ。
見よ、あなたの王はあなたの所に来る。
彼は義なる者であつて勝利を得、
柔和であつて、ろばに乗る。¹⁰私はエフライムから戦車を断ち、
エルサレムから軍馬を断つ。
また、いくさ弓も断たれる。彼は国々の民に平和を告げ、
その政治は海から海に及び、
大川から地の果にまで及ぶ。

すなわち、ろばの子である子馬に乗る。

あなたについてはまた、

あなたとの契約の血のゆえに、

私はかの水のない穴から、

あなたの捕われ人を解き放す。

あなたをもとに返すこと。

私はユダを張つて、わが弓となし、

エフライムをその矢とした。

シオンよ、私はあなたの子らを呼び起して、

ギリシャの人々を攻めさせ、

あなたを勇士のつるぎのようになせる。

その時、主は彼らの上に現れて、

その矢をいなずまのようになれる。

主なる神はラツバを吹きならし、

南のつむじ風に乗つて出てこられる。

14 万軍の主は彼らを守られるので、

彼らは石投げどもを食ひ尽し、踏みつける。

彼らはまたおどう酒のようになれる。彼らの血を飲み、

鉢のようにそれで満たされ、

祭壇のすみのようになれる。

16 その日、彼らの神、主は、彼らを敷い、

その民を羊のように養われる。

彼らは冠の玉のように、その地に輝く。

17 そのさいわい、その麗しさは、いかばかりであろう。

穀物は若者を榮えさせ、

新しいぶどう酒は、おとめを榮えさせる。

・出24:4-8
・マタ26:28
・ヘ"1"○3月に乗って入城
・マタ21:5
・ヨハネ12:15

9

レバノンの海港

10

2 テラピムは、たわごとを言い、
占い師は偽りを見、
夢見る者は偽りの夢を語り、
むなし慰めを与える。

このゆえに、民は羊のようにさまよい、
牧者がないために悩む。

3 「わが怒りは牧者にむかって燃え、
私は雄やぎを罰する。

万軍の主が、その群れの羊であるユダの家を顧み、
これをみごとな軍馬のようにされるからである。

4 隅石は彼らから出、
天幕の杭も彼らから出、
いくさ弓も彼らから出、
支配者も皆彼らの中から出る。

5 彼らが戦う時は勇士のようになつて、
道ばたの泥の中に敵を踏みにじる。

主が彼らと共におられるゆえに彼らは戦い、
馬に乗る者どもを困らせる。

6 私はユダの家を強くし、ヨセフの家を救う。
私は彼らをあわれんで、彼らを連れ帰る。

彼らは私に捨てられたことのないようになる。
私は彼らの神、主であつて、
彼らに答えるからである。

7 エフライムびとは勇士のようになり、
その心は酒を飲んだように喜ぶ。

その子供らはこれを見て喜び、
その心は主によつて楽しむ。

8 私は彼らに向かい、口笛を吹いて彼らを集め、
私が彼らをあがなつたからである。彼らは昔のように數多くなる。

9 私は彼らを国々の民の中に散らした。
しかし彼らは遠い国々で私を覚え、
その子供らと共に生きながらえて帰つてくる。

10 私は彼らをエジプトの國から連れ帰り、
彼らを連れて行く。

ナイルの淵はことごとくかれた。
アッスリヤの高ぶりは低くされ、
エジプトのつえは移り去る。

11 彼らはエジプトの海を通る。
海の波は撃たれ、
香柏は倒れ、

みごとな木は、そこなわれたからである。
バシャンのかしよ、泣き叫べ。

茂つた林は倒れたからである。
3聞け、牧者の泣き叫ぶ声を。

彼らの栄えが消え去ったからである。
聞け、しのほえる声を。

ヨルダンの草むらが荒れ果てたからである。
1レバノンよ、おまえの門を開き、
おまえの香柏を火に焼き滅ぼせよ。
2いとすぎよ、泣き叫べ。
3聞け、牧者の泣き叫ぶ声を。

11

榮えいた
ヨミ
(エゼ31:3-9)

11

4 わが神、主はこう仰せられた、「ほふらるべき羊の群れの牧者となれ。

5 これを買う者は、これをほふつても罰せられない。これを売る者は言う、「主はほむべきかな、私は富んだ」と。そしてその牧者は、「これをあわれまない」。

6 私は、もはやこの地の住民をあわれまないと、主は言われる。見よ、私は人をおののその牧者の手に渡し、おののその王の手に渡す。彼らは地を荒す。私は彼らの手からこれを救い出さない」。

7 私は羊の商人のために、ほふらるべき羊の群れの牧者となつた。私は二本のつえを取り、その一本を恵みと名づけ、一本を結びと名づけて、その羊を牧した。

8 私は一か月に牧者三人を滅ぼした。私は彼らに、がまんしきれなくなつたが、彼らもまた、私を忌みきらつた。

9 それで私は言った、「私はあなたがたの牧者とならない。死ぬ者は死に、滅びる者は滅び、残つた者はたがいにその肉を食いあうがよい」。

10 私は恵みといつえを取つて、これを折つた。これは私がもろもろの民と結んだ契約を、廢するためであつた。

11 そしてこれは、その日に廢された。そこで、私に目を注いでいた羊の商人らは、これが主の言葉であつたことを知つた。

12 私は彼らに向かつて、「あなたがたがもし、よいと思うならば、私に貢銀を払いなさい。もし、いけなければやめなさい」と言つたので、彼らは私の貢銀として、銀三十シケルを量つた。

13 主は私に言われた、「彼らによつて、私が値積られたそとの尊い価を、宮のさいせん箱に投げ入れよ」。私は銀三十シケルを取つて、これを主の宮のさいせん箱に投げ入れた。

14 そして私は結びという第一のつえを折つた。これはユダとイスラエルの間の、兄弟関係を廢するためであつた。

15 主は私に言われた、「おまえはまた愚かな牧者の器を取れ」。

16 見よ、私は地にひとりの牧者を起す。彼は滅ばされる者を顧みず、迷える者を尋ねず、傷ついた者をいやさず、健やかな者を養わず、肥えた者の肉を食らい、そのひすめをさえ裂く者である。

17 その羊の群れを捨てる愚かな牧者はわざわいだ。どうか、つるぎがその腕を擊ち、その右の目を擊つよう。

その腕は全く衰え、

その右の目は全く見えなくなるように」。

○金30シケル
・マタイ26:15.
・マテ27:3-

1 託宣

イスラエルについての主の言葉。すなわち天をのべ、地の基をすえ、人の靈をその中に造られた主は、こう仰せられる、

「見よ、私はエルサレムを、その周囲にあるすべての民をよろめかす杯にしようとしている。これはエルサレムの攻め開まれる時、ユダにも及ぶ。」

3 その日には、私はエルサレムをすべての民に対して重い石とする。これを持ちあげる者はみな大傷を受ける。

4 地の国々の民は皆集まつて、これを攻める。

4 主は言われる。その日には、私はすべての馬を擊つて驚かせ、その乗り手を擊つて狂わせる。しかし、もちろんの民の馬を、ことごとく擊つて、めくらとすると

5 き、ユダの家に対しても、私の目を開く。

5 その時ユダの諸族は、その心の中に『エルサレムの住民は、その神、万軍の主によって力強くなつた』と言

う。

6 その日には、私はユダの諸族を、たきぎの中の火皿のようにして、麦束の中のたいまつのようにする。彼らは右に左に、その周囲にあるすべての民を、焼き滅ぼす。

7 しかしエルサレムはなお、そのもとの所、すなわちエルサレムで、人の住む所となる。

7 主はまずユダの幕屋を敷われる。これはダビデの家の光榮と、エルサレムの住民の光榮とが、ユダの光榮にまさることのないようにするためである。

8 その日、主はエルサレムの住民を守られる。彼らの中の弱い者も、その日には、ダビデのようになる。またダビデの家は神のよう、彼らに先だつ主の使のようになる。

9 その日には、私はエルサレムに攻めて来る国民を、ことごとく滅ぼそうと努める。

12

マタイ2:18
ヨハネ1:17
ルカ1:172/10
マタイ2:18
ヨハネ1:17
ルカ1:17マタイ2:18
ヨハネ1:17
ルカ1:17マタイ2:18
ヨハネ1:17
ルカ1:17マタイ2:18
ヨハネ1:17
ルカ1:17

13

水を引く

1 その日には、罪と汚れとを清める一つの泉が、ダビデの家とエルサレムの住民とのために開かれる。

2 万軍の主は言われる。その日には、私は地から偶像の名を取り除き、重ねて人に覚えられることのないようにする。私はまた預言者および汚れの靈を、地から去らせん。

3 もし、人が今後預言するならば、その産みの父母はこれにむかって、『あなたたは主の名をもつて偽りを語るゆえ、生きていることができない』と言ひ、その産みの父母は彼が預言している時、彼を刺すであろう。

4 その日には、預言者たちは皆預言する時、その幻を恥じる。また人を欺くための毛の上着を着しない。

5 そして『私は預言者ではない、私は土地を耕す者だ。若い時から土地を持つていて』と言ふ。

6 もし、人が彼に『あなたの背中の傷は何か』と尋ねるならば、『これは私の友だちの家で受けた傷だ』と、彼は言うであろう。

7 万軍の主は言われる。『つるぎよ、立ち上がりつてわが牧者を攻めよ。

7 私の次に立つ人を攻めよ。牧者を擊て、その羊は散る。

私は手をかえして、小さい者どもを攻める。

8 主は言われる。全地の人の三分の二は断たれて死に、三分の一は生き残る。

9 私はこの三分の一を火に入れ、銀をふき分けるように、これをふき分け、金を精練するように、これを精練する。

彼らは私の名を呼び、私は彼らに答える。私は『彼らはわが民である』と言う。彼らは『主はわが神である』と言う。

▲ 3分の1のばき

Rev 8:7-12.

太陽月

ヨエレ2:
ヨセフの日、靈を注ぐ預言2:12:10
主の日が平日、主の名を呼び出す預言2:15:9.

精神

汚れた預言者

7 7 7

○ 牧者とアツ散り立てる

マタイ26:31 ロマ1:17-18

フキ刺し死者を見子

○ マタイ24:30 ヨハネ19:32-37

雲に乗つて昇る時

ヘビーライ

太陽月 教会 [5/28.
6/16.] 惠みの靈マタイ2:18
ヨハネ1:17
ルカ1:17飯田みゆ
(ダニエル النبي)

▲ 主は王となり
Rev.11:15

▲ 夜が明け
Rev.22:5

(オリーブ山、マタイ24:26-30)

1 見よ、主の日が来る。その時あなたの奪われた物は、あなたの中で分かたれる。

2 私は万国の民を集めて、エルサレムを攻め撃たせる。町は取られ、家はかすめられ、女は犯され、町の半ばは捕えられて行く。しかし残りの民は町から断たれることはない。

3 その時、主は出てきて、いくさの日にみずから戦われる時のように、それらの国びと戦われる。

4 その日には彼の足が、東の方エルサレムの前にあるオリーブ山の上に立つ。そしてオリーブ山は、非常に広い一つの谷によって、東から西に二つに裂け、その山の半ばは北に、半ばは南に移り、

5 わが山の谷はふさがれる。裂けた山の谷が、そのかたわらに接触するからである。そして、あなたがたはユダの王ウジヤの世に、地震を避けて逃げたように逃げる。こうして、あなたがたの神、主はこられる、もちろんの聖者と共にこられる。

6 その日には、寒さも霜もない。

7 そこには長い連続した日がある（主はこれを知られる）。これには昼もなく、夜もない。夕暮になつても、光があるからである。

8 その日には、生ける水がエルサレムから流れ出で、その半ばは東の海に、その半ばは西の海に流れ、夏も冬もやむことがない。

9 主は全地の王となられる。その日には、主ひとり、その名一つのみとなる。

10 全地はゲバからエルサレムの南リンモンまで、平地のようになる。しかしエルサレムは高くなつて、そのもの所にとどまり、ベニヤミンの門から、先にあつた門の所に及び、隅の門に至り、ハナネルのやぐらから、王の酒ぶねにまで及ぶ。

11 その中には人が住み、もはやのろいはなく、エルサレムは安らかに立つ。

▲ エルサレムが坐(すわ)る(3章)
Rev.22:1 / エビセイエレ4:1-12

12 エルサレムを攻撃したもうもろの民を、主は災をもつて撃たれる。すなわち彼らはなお足で立つてはいるうちに、その肉は腐れ、目はその穴の中で腐れ、舌はその口の中で腐れる。

13 その日には、主は彼らを大いにあわてさせられるので、彼らはおのおのその隣り人を捕え、手をあげてその隣り人を攻める。

14 ユダもまた、エルサレムに敵して戦う。その周囲のすべての国びとの財宝、すなわち金銀、衣服などが、はなはだ多く集められる。

15 また馬、驃、らくだ、ろば、およびその陣営にあるすべての家畜にも、この災のような災が臨む。

16 エルサレムに攻めて来たもろもろの国びとの残つた者は、皆年々上つて来て、王なる万軍の主を拝み、仮庵の祭を守るようになる。

17 地の諸族のうち、王なる万軍の主を拝むために、エルサレムに上らない者の上には、雨が降らない。

18 エジプトの人々が、もし上つてこない時には、主が仮庵の祭を守るために、上つてこないすべての国びとを擊たれるその災が、彼らの上に臨む。

19 これが、エジプトびとの受ける罰、およびすべて仮庵の祭を守るために上つてこない國びとの受ける罰である。

20 その日には、馬の鈴の上に「主に聖なる者」と、しるすのである。また主の宮のなべは、祭壇の前の鉢のようになり、聖なる物となる。

21 エルサレムおよびユダのすべてのなべは、万軍の主にして聖なる物となり、すべて犠牲をささげる者は来てこれを取り、その中で犠牲の肉を煮ることができます。その日には、万軍の主の宮に、もはや商人はない。

大祭司 → 万軍の民に?

Rev.22:4 (神の名)